

様式 ER433-3-C-01

作成者氏名 吉岡大介
作成年月日 2018年4月24日

環境管理責任者		環境統括責任者		環境管理責任者		ISO事務局	
サイン	月日	サイン	月日	サイン	月日	サイン	月日

### 環境目標一覧表

環境目的	環境目標		
	2018年度	(2019年度)	(2020年度)
1. 環境教育・活動の実施	5つ以上の教科・特別活動において、環境教育に資する教育活動を実施する	5つ以上の教科・特別活動において、環境教育に資する教育活動を実施する	5つ以上の教科・特別活動において、環境教育に資する教育活動を実施する
	各学年で環境についての取り組みを年1回以上実施する	各学年で環境についての取り組みを年1回以上実施する	各学年で環境についての取り組みを年1回以上実施する
2. 環境関連の講演会の実施	生徒・教職員・保護者を対象に年1回、環境に関する講演会を実施する	生徒・教職員・保護者を対象に年1回、環境に関する講演会を実施する	生徒・教職員・保護者を対象に年1回、環境に関する講演会を実施する
3. 環境に関する他校との交流	環境に関する他校・他団体との交流行事を、主催または共催の形で年1回実施する	環境に関する他校・他団体との交流行事を、主催または共催の形で年1回実施する	環境に関する他校・他団体との交流行事を、主催または共催の形で年1回実施する
4. 環境関連情報の発信	環境・ISO活動等の状況をホームページ上で毎月発信する	環境・ISO活動等の状況をホームページ上で毎月発信する	環境・ISO活動等の状況をホームページ上で毎月発信する
5. 環境関連施設・学校の見学・訪問	施設見学会または学校訪問を年1回実施する	施設見学会または学校訪問を年1回実施する	施設見学会または学校訪問を年1回実施する
6. 省エネルギーの推進	電気使用量について、2014～2016年度の平均値以内とする	電気使用量について、2014～2016年度の平均値以内とする	電気使用量について、2017～2019年度の平均値以内とする
7. ゴミの再資源化と減量	一般廃棄物(可燃ゴミ)の排出量について、2014～2016年度の平均値の1.3倍以下とする	一般廃棄物(可燃ゴミ)の排出量について、2014～2016年度の平均値の1.3倍以下とする	一般廃棄物(可燃ゴミ)の排出量について、2017～2019年度の平均値以内とする
	産業廃棄物(不燃ゴミ)の排出量について、2014～2016年度の平均値の2.6倍以下とする	産業廃棄物(不燃ゴミ)の排出量について、2014～2016年度の平均値の2.6倍以下とする	産業廃棄物(不燃ゴミ)の排出量について、2017～2019年度の平均値以下とする
	すべての生徒・教職員が年1回以上、ゴミ回収時の分別を体験する	すべての生徒・教職員が年1回以上、ゴミ回収時の分別を体験する	すべての生徒・教職員が年1回以上、ゴミ回収時の分別を体験する
8. アンケートの実施	環境関連の知識や環境活動の実践に関するアンケートを年1回実施する	環境関連の知識や環境活動の実践に関するアンケートを年1回実施する	環境関連の知識や環境活動の実践に関するアンケートを年1回実施する

運用管理項目

9. 用紙使用量の監視	印刷用紙の使用量を月単位で監視し、年度ごとに集計を行って過去の比較を可能にしておく。
10. 化学薬品の管理 (理科・工業科)	工業科の薬品庫および理科で保持する薬品について適正に管理する。
11. 電気室の管理 (PCB保管場所)	電気室の設備、環境整備を行うとともに、貯留されたPCBの管理を行う。
12. ボイラーの管理	ボイラーの使用期間中、定期的に状況を確認する。
13. 法的及びその他の要求事項の確認	年1回、本校が受け入れている環境関連等の法律について内容を確認し、制定改廃の有無を確かめる。
14. 騒音の計測	騒音についての苦情の有無を確認する。 必要に応じて騒音計を使い計測を行う。
15. 計測機器の校正	年2回以上、使用している計測機器の校正を行う。